

令和1年11月期（平成30年11月15日～令和1年11月14日）決算短信

令和1年12月20日
上場取引所 東証

ファンド名 国際のETF VIX短期先物指数
 コード番号 1552
 連動対象指標 円換算したS&P500 VIX短期先物指数
 主要投資資産 国債証券
 売買単位 1口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 松田 通
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和2年2月13日
 分配金支払開始予定日 —

I ファンドの運用状況

1. 令和1年11月期の運用状況（平成30年11月15日～令和1年11月14日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和1年11月期	22,627	(61.8)	13,969	(38.2)	36,596	(100.0)
平成30年11月期	7,886	(68.1)	3,695	(31.9)	11,581	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和1年11月期	885	7,421	2,554	5,752
平成30年11月期	1,393	1,019	1,527	885

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
令和1年11月期	39,081	2,484	36,596	6,362
平成30年11月期	11,752	170	11,581	13,075

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
令和1年11月期	—
平成30年11月期	—

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第8期 [平成30年11月14日現在]	第9期 [令和1年11月14日現在]
資産の部		
流動資産		
預金	1,754,673,774	6,427,759,724
コール・ローン	60,488,483	366,543,213
国債証券	7,886,767,759	22,627,226,582
派生商品評価勘定	587,554,398	-
差入委託証拠金	1,463,103,597	9,659,591,221
流動資産合計	11,752,588,011	39,081,120,740
資産合計	11,752,588,011	39,081,120,740
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	146,452,779	2,440,019,639
未払受託者報酬	3,327,493	6,127,656
未払委託者報酬	20,630,392	37,991,450
未払利息	107	652
その他未払費用	266,132	490,151
流動負債合計	170,676,903	2,484,629,548
負債合計	170,676,903	2,484,629,548
純資産の部		
元本等		
元本	2,319,381,338,400	15,063,134,138,400
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△2,307,799,427,292	△15,026,537,647,208
(分配準備積立金)	△396,519,837	△110,460,824
元本等合計	11,581,911,108	36,596,491,192
純資産合計	11,581,911,108	36,596,491,192
負債純資産合計	11,752,588,011	39,081,120,740

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8期		第9期	
	自 平成29年11月15日 至 平成30年11月14日		自 平成30年11月15日 至 令和1年11月14日	
営業収益				
受取利息		32,473,064		358,403,634
有価証券売買等損益		192,694,908		30,673,646
派生商品取引等損益		3,657,667,698		△10,610,598,340
為替差損益		△357,374,629		△922,854,235
その他収益		5,486,290		2,488,430
営業収益合計		3,530,947,331		△11,141,886,865
営業費用				
支払利息		181,696		380,403
受託者報酬		6,777,148		10,157,596
委託者報酬		42,018,198		62,977,035
その他費用		2,747,497		1,318,017
営業費用合計		51,724,539		74,833,051
営業利益又は営業損失(△)		3,479,222,792		△11,216,719,916
経常利益又は経常損失(△)		3,479,222,792		△11,216,719,916
当期純利益又は当期純損失(△)		3,479,222,792		△11,216,719,916
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		-		-
期首剰余金又は期首欠損金(△)		△3,630,749,370,654		△2,307,799,427,292
剰余金増加額又は欠損金減少額		3,977,550,659,000		6,661,482,753,000
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		3,977,550,659,000		6,661,482,753,000
剰余金減少額又は欠損金増加額		2,658,079,938,430		19,369,004,253,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		2,658,079,938,430		19,369,004,253,000
分配金		-		-
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△2,307,799,427,292		△15,026,537,647,208

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	第8期 [平成30年11月14日現在]	第9期 [令和1年11月14日現在]
1. 期首元本額	3,648,420,955,200円	2,319,381,338,400円
期中追加設定元本額	2,669,257,183,200円	19,431,146,400,000円
期中一部解約元本額	3,998,296,800,000円	6,687,393,600,000円
2. 差入委託証拠金代用有価証券 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の通り差入れを行っております。 国債証券	4,479,839,273円	10,271,796,154円
3. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	2,307,799,427,292円	15,026,537,647,208円
4. 受益権の総数	885,801口	5,752,801口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

	第8期 自平成29年11月15日 至平成30年11月14日	第9期 自平成30年11月15日 至令和1年11月14日																																																											
1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。																																																													
2. 分配金の計算過程																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>37,777,658円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>△382,754,652円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>△344,976,994円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>51,542,843円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△396,519,837円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>885,801口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	37,777,658円	分配準備積立金額	B	△382,754,652円	配当等収益合計額	C=A+B	△344,976,994円	経費	D	51,542,843円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△396,519,837円	当ファンドの期末残存口数	H	885,801口	1口当たり分配金額	I=F/H	—円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>360,511,661円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>△396,519,837円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>△36,008,176円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>74,452,648円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△110,460,824円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>5,752,801口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	360,511,661円	分配準備積立金額	B	△396,519,837円	配当等収益合計額	C=A+B	△36,008,176円	経費	D	74,452,648円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△110,460,824円	当ファンドの期末残存口数	H	5,752,801口	1口当たり分配金額	I=F/H	—円
項目																																																													
当期配当等収益額	A	37,777,658円																																																											
分配準備積立金額	B	△382,754,652円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	△344,976,994円																																																											
経費	D	51,542,843円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																											
収益分配金金額	F	—円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△396,519,837円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	885,801口																																																											
1口当たり分配金額	I=F/H	—円																																																											
項目																																																													
当期配当等収益額	A	360,511,661円																																																											
分配準備積立金額	B	△396,519,837円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	△36,008,176円																																																											
経費	D	74,452,648円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																											
収益分配金金額	F	—円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△110,460,824円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	5,752,801口																																																											
1口当たり分配金額	I=F/H	—円																																																											

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第8期 自平成29年11月15日 至平成30年11月14日	第9期 自平成30年11月15日 至令和1年11月14日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託	同左

<p>2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク</p>	<p>であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。</p> <p>当ファンドは、運用の効率化を図るために、外国有価証券指数等先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。</p> <p>また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	<p>同左</p>
<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。</p> <p>また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	<p>同左</p>

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第8期 [平成30年11月14日現在]	第9期 [令和1年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異	同左

なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第8期 [平成30年11月14日現在]	第9期 [令和1年11月14日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
国債証券	△1,361,171	19,721,687
合計	△1,361,171	19,721,687

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

その他関連

第8期 [平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	外国有価証券指数 等先物取引				
	買建	11,147,456,628	—	11,588,558,247	441,101,619
合計		11,147,456,628	—	11,588,558,247	441,101,619

第9期 [令和1年11月14日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	外国有価証券指数 等先物取引				
	買建	39,023,973,665	—	36,583,954,026	△2,440,019,639
合計		39,023,973,665	—	36,583,954,026	△2,440,019,639

(注) 時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
 - 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
 - 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第8期 [平成30年11月14日現在]	第9期 [令和1年11月14日現在]
1口当たり純資産額	13,075円	6,362円